

簡略記号

矢印は、屋外広告で最も使われる記号のひとつで、シンプルで伝わりやすいが、的確な場所で、的確に示さないと誤解をまねきやすい。交差点の間近で方向や位置を指し示すものと、遠方から方向の予告を示すものに分かれる。予告には誘導対象の情報を組み合わせる。駐車場やトイレなどのピクトグラムも多く使用される。施設のイメージに合ったものをデザインすることもあるが、一般的には標準的なものを使用するほうが認識しやすく、特に、不特定多数の人が出入りする公共・公益的施設では標準案内用図記号を用いることが望ましい。

矢印のみで理解できる

左方向/左折 右方向/右折 直進 後ろ/手前

左斜め方向 右斜め方向 もどる

補助情報と組合せ理解できる 予告として使用

先を左折 先を右折

感覚的に理解できる

(左折後左折) (右折後右折)

出来るだけ使用しない方がいいが、現実に使われる場合がある。上記の で伝わりにくい場合にはUターンを意味する記号を使う。

補助情報の略し方

直近を左折 一定距離を示し予告

△ 煩雑になりやすい

主となる誘導の裏側に表記

× 誤解しやすい例

200m先を左折するのか 左折して200m先なのか まぎらわしい

× 数字が見やすいように単位は小文字で表記する

200M 2KM → 2km

○ 見慣れている大文字の略

AM10時 → 10am 24H

標準案内用図記号

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、不特定多数の人が出入りする交通施設、観光施設、スポーツ施設、商業施設等に使用される標準案内用図記号（ピクトグラム）の使用を推奨している。125項目の（内110項目がJIS化）標準案内用図記号は、財団ホームページからダウンロードして使用できる。



見慣れないものは、運転中は瞬時に理解しにくい。



ピクトグラムは文字が読めない外国人でも理解しやすい。



矢印が並ぶ場合は、わかりやすく、美しくレイアウトする。